

戦前期 沖縄一中学友会雑誌集成—『球陽』『学友会雑誌』『養秀』が、発刊! (全2回配本・全8巻・附録1)



戦前の沖縄には、エリートを多く輩出した名門校「沖縄一中」(沖縄県立第一中学校)がありました。この学校は琉球王国時代に始まり、日本の教育制度に合わせて名前を変えてきました。有名な卒業生には、沖縄学の研究者や日本共産党のリーダーがいます。

この学校で発行されていた学友会の雑誌『球陽』『学友会雑誌』『養秀』が復刻されました。雑誌には、学生が書いた作品や学校生活の記録があり、当時のエリート学生の生活や考えがわかります。また、戦争中や戦後の沖縄に関する重要な資料も含まれています。

さらに、卒業生が書いたエッセイや沖縄戦に関する記事を集めた同窓会誌『養秀』も復刻され、これらの資料は沖縄の教育や歴史を研究する上でとても貴重です。

2025年3月から、第1回配本(第1巻～第4巻)、第2回配本(第5巻～第8巻・附録)と続きます。

養秀会館で読めますので、ぜひお越しください。

発行:養秀同窓会 発売:不二出版

『戦前期 沖縄一中学友会雑誌集成』全8巻出版の、推薦の言葉

■学友会雑誌『球陽』(『学友会雑誌』→『養秀』と改題)は一八九四年(明治二十七年)頃創刊され、一九三六年(昭和十一年)三月発行の『養秀』第三七号までの三七冊と『養秀』創立四十周年記念号を合わせて三八冊が確認されている。本県における学友会雑誌の嚆矢であり、全国的にも早い時期に属するといわれている。この学友会雑誌は全国の中学校、師範、高等学校の七四校に交換資料として寄贈され広く活用されていたことが『球陽』第一八号の「寄贈図書一覧」で分かる。

(與儀毅 一般社団法人養秀同窓会会長)

■今回収集された『戦前期 沖縄一中学友会雑誌集成』全八巻の諸資料は、これまで十分に解明できなかった分野を幅広く歩んできた先人たちが道を拓き、体験を深め、沖縄を支えてきたその実態をよく知り学び、平和で豊かな沖縄の道を切り開いていく大きな示唆。

(又吉盛清 沖縄大学客員教授)

■これらの資料群は、沖縄一中(現首里高校)という一つの学校に限られてはいるが、社会的に活躍した人物の輩出を見ると、そのスケールの大きさに目を見張るものがある。略々青春のまっただ中にあつた若者の文章は、沖縄人のアイデンティティー・クライシスに悩みながらも、希望に向けて立ち上がる姿を彷彿させる。

(我部政男 山梨学院大学名誉教授/元琉球大学教授)

★『戦前期 沖縄一中学友会雑誌集成』同窓会会員様限定 特別価格販売 上記書籍を会員様限定で下記価格にて販売いたします。

内容	原誌収録年月	販売価格(税込)	ご注文	ご住所・ご連絡先
全巻セット	全8巻・附録1冊	220,000円→特価 160,000円		
第1回配本	第1巻～第4巻 『球陽』第14～18号、20号、21号、 『学友会雑誌』第23～25号(1905 年4月～1917年1月)	96,800円→特価 70,000円		
第2回配本	第5巻～第8 巻・附録1冊 『養秀』第26～37号(33号欠) (1917年12月～1936年3月)、 同窓会誌『養秀』第1～9号(1975 年夏～1987年8月)	123,200円→特価 90,000円		
附録	養秀同窓会誌『養 秀』第1～9号	26,400円→特価 20,000円 ★附録のみの分売も可能です!		書籍ご到着までの流れ: お申込み→振込用紙郵送→ご入金確認→書籍発送

*会員様特別価格となります。ご注文は書店ではなく、TEL・FAXにて下記に直接ご用命ください。送料は無料です。

不二出版 〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10 TEL: 03(5981)6704 FAX: 03(5981)6705
http://www.fujishuppan.co.jp